

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100302
法人名	佐藤循環器科内科
事業所名	グループホーム朝生田の里
所在地	愛媛県松山市朝生田町4丁目10-25
自己評価作成日	平成22年7月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年8月11日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当施設は、ほとんどの利用者が週3回透析を受けておられ、食事や水分、運動制限がある中で生活されています。そんな中からも日々の楽しみを見つけ、少しでも利用者の笑顔がみれるように本人の希望に沿って散歩や外出レクリエーションを多く取り入れています。また、地域の公園や神社、体育祭にも出かけて行き、地域の方ともふれ合い交流も少しずつ出来つつあります。昨年、課題となった個々の懐かしい場所や会いたい人に会いに行けるよう支援する個別支援も行っていきます。そして一人ひとりが安心して終末まで過ごせるよう医療との連携を取ってグループ全体で支援しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

この一年、事業所では外出する機会を増やすことに力を入れて来られ、毎月、計画を立てて出かけるようにされている。誕生日の日には、ご本人の希望をお聞きしてお好きなところに出かけておられ、デパートでウィンドーショッピングして、お茶を楽しんで帰った方もある。  
居室の電話の横には、息子さんの携帯番号がわかるようにされていたり、職員が電話してご家族とお話できるように支援されている。又、友人の方が遊びに来てくれた際には、帰り際に事業所の行事へお誘いしたり、来てもらえるよう声かけをされている。  
透析を受ける時間以外は、体調等もみながら、利用者のお若い頃のお話をされる等、利用者が生き生きと暮らせるように「楽しい時間作り」に心がけておられる。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム朝生田の里

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)  
氏名 三橋 幸江

評価完了日 2010年 7月30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)  三つの理念を掲げ、事務所とリビングに掲示しスタッフは理念を共有し実践につなげている。	
			(外部評価)  事業所は、理念の一つに「地域との密着」と掲げて「開かれたホームを目指して地域の人たちとともに生活する」ために、地域行事等に積極的に参加されたり、法人全体の「夏祭り」を催して、地域交流できるように取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)  施設で行うお花見や夏祭りの行事に地域の方達も参加して頂いたり、地域の運動会や敬老会等に利用者も参加して地域との交流を深めている。	
			(外部評価)  町内のお祭りでは、利用者や職員も地域の方達と輪になって一緒に盆踊りを踊ったり、露店等も楽しめました。又、毎年恒例となっている法人の「夏祭り」には、地域の方や子ども達、地域のグループホームの方、又、ご家族の方も半数ほど来てくださり、関係者も合わせて400名ほどの参加を得て、盛大に行われた。聖カタリナ大学の学生がボランティアに来てくださった。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)  運営推進会議で認知症の人の理解や支援の方法を話したり、個別の事案についても相談にのっている。ご近所の認知症を持つ方の相談にも応じている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>二ヶ月に1度開催している運営推進会議でグルー プホームの年間行事、近況報告、評価への取 り組み状況について報告をし参加して頂い ている方達の意見もお聞きし参考にしてい る。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>2階の居間で会議を開催されており、利用 者も時には同席して、出席者にお菓子をす すすめくださったりする。会議では「外部 評価結果を受けて具体的に、どのように取 り組んでいくか」を報告されたり、地域 の方からは地域行事等の情報を教えても らったりしている。春には、お花見、夏 には夏祭り重ねて、会議とされている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議やグループホーム連絡協議会 には必ず市役所、社協、統括支援センター の職員が参加して下さり、協力関係は築 けている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、地域包括支援センター の担当者の方に「成年後見制度について」 お話をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」を正 しく理解しており、玄関の施錠を含めて身 体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>マニュアルを設置しており、スタッフ全員 が身体拘束をしないケアの理解をし、取 り組みを行っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者は、中庭に出て外気浴されている。 ユニットによっては、ユニット出入口や居 室入口、又、くつに鈴を付けて、ご本人 の動きが職員に分かるようにされている。 事業所では、今後、虐待や身体拘束につ いて全職員で知識を深めたり、日々のケ アを確認できるよう勉強会を行いたい と考えておられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修に参加して学ぶ機会を持ち、虐待が起こらないような環境作りに努めている。また、入浴時には身体状況の確認を行っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 運営推進会議で統括支援センターの職員から成年後見制度について詳しく説明を聞いた。また、その必要性がある時は支援していきたいと思う。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に責任者が十分な説明を行い納得して頂いている。不安や疑問点についても何度も説明を行うよう心がけている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 各フロアに御意見箱を設置している。ご家族が面会に来られた時に近況報告をし、意見や要望を聴かせて頂いている。 (外部評価) 夏祭り時、ご家族は利用者と一緒に楽しまれた。意見箱には、ご家族から感謝のメッセージが入っていたことがある。ご家族の来訪時や電話で日々の様子を伝え、ご意見をうかがっておられる。職員の入れ替わり等があった時に「職員と話しにくい」というようなご意見があり、職員で話し合っ「ご家族が来られた時にはコミュニケーションを図る」ことを取り組まれた。	事業所では、ホーム便りの発行をお休みされていたが、今後、再開する予定である。又、家族会の開催も検討をされていた。運営推進会議も含めて、事業所で力を入れて取り組んでいることを具体的に伝え、ご意見を引き出していかれてほしい。

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ミーティングを行い、スタッフの意見を出し合って話し合う機会を持っている。	
			(外部評価)	
			介護部長や管理者等は、職員に声をかけて悩みを聞き取ったり、相談に応じておられる。自己評価を全職員で取り組み、ユニットのリーダーがまとめられた。その際、職員個々のケア等への理解度や課題等もうかがえたようである。	さらに、今後、事業所では職員研修に力を入れていきたいと考えておられる。「虐待や身体拘束」「尊厳の保持」「アセスメント」等、職員が学びたいこと等も聞き取りながら年間で計画を立てる等、職員個々のさらなるスキルアップから、事業所のケアの質向上を目指していかれてほしい。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			年末に研修や学会への参加や発表への報告書を提出し、日頃の勤務状況、仕事への取り組み等を評価し査定して賞与に反映されている。スタッフも十分やりがいを感じて働ける職場環境である。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修の案内をPCや書面で知らせ、個々に選んで研修を受けるよう喚起している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			グループホーム連絡協議会や市や県が主催の研修に参加して他の施設の職員と交流し意見交換を行って、サービスの質の向上に努めている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用者に関わっていく中で信頼関係を築いている。本人との会話の中から不安に思っている事や要望等を汲み取り安心して生活していけるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会時に家族が話をしたり、意見を言ったりしやすい雰囲気を作るよう心がけている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所時の情報や日常の会話等から、その人に何の支援が必要なのか見極め対応している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々の生活歴を把握し、スタッフは利用者と共に生活しているという意識を持ち関係作りに努めている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>遠方であまり面会に来られない家族には、電話や手紙で近況報告をして本人と家族の絆を大切にしている。また、病院受診時には、家族に連絡を取って協力をして頂いている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>友人や知人が訪ねて来やすい雰囲気作りに努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室の電話の横には、息子さんの携帯番号がわかるようにされていたり、職員が電話してご家族とお話できるように支援されている。又、友人の方が遊びに来てくれた際には、帰り際に事業所の行事へお誘いしたり、来てもらえるよう声かけをされている。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)  利用者同士の会話が成立しやすいようスタッフが会話の中に入り、孤立しないような環境を作っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)  退去した家族の方からも手紙を頂いたり、今までの関係を大事にしていつでも相談に応じられるようにしている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)  日常の会話の中から本人の暮らし方、希望や意向を把握し個々の希望に添えるよう努めている。	
			(外部評価)  透析をされている利用者がほとんどで、利用者同士で病気の状態のことや思いをお互いに話されることも多いようだ。又、職員は、利用者個々に希望等をお聞きしながら意向の把握に努めておられる。	事業所では、新たにコンピューターソフトを導入して、アセスメントの充実に取り組まれている。職員が利用者個々を知ることが大切と考え、取り組みを始めた。看とりについての希望等も含めて、思いや意向の把握をすすめられ、ご本人らしい暮らしを続けていけるような介護計画の作成につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)  家族から生活歴を聞いたり、日常の会話から生活歴、生活環境の把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)  ミーティングやカンファレンスを行い、スタッフ間の情報を共有し現状の把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ミーティングやカンファレンスで利用者の情報を共有したり、日々の会話や行動から課題を見つけ必要な関係者で話し合い現状に沿ったケアプランを作成している。</p> <p>(外部評価) 3ヶ月ごとに介護計画を見直しておられる。「ご本人やご家族の希望を反映した計画の作成」に取り組んでおられ、利用者個々の担当職員は、ご家族にご本人の日頃の様子を詳細に伝えて、ご家族からも具体的な要望を引き出せるよう「一歩踏み込んだ」聞き取りに努力されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) ケース記録に記入したり、PCの日誌等に入力してスタッフ間で情報の共有を行いながら実践やケアプランの見直しに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 医療の連携体制を活かし状況や要望に応じて主治医・PT・管理栄養士・看護師による個別のサービスが行えるような体制を取っている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議などで地域の情報が密になり交流も増え、本人の希望に沿って安心して生活出来るよう支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>母体病院の主治医により定期的に診察を受けている。 本人、家族の希望があればかかりつけ医に受診出来る よう主治医が紹介状を書き適切な医療が受けられるよ う支援している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>週に3回、隣接の母体医療機関に透析を受けに行かれ る方が多い。その際には、職員が、お連れして迎えに 行かれている。状態変化時には、病状を医師からご家 族に説明されている。食事は、隣接の医療機関の栄養 士が立てた透析患者用の献立を、厨房で調理されたも のが届くようになっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価)	
			<p>看護師が常勤し、隣接の母体病院の看護師にも体調の 変化があれば相談し適切な指導をして貰えるよう支援 体制が取れている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>看護師が常勤し、隣接の母体病院の看護師にも体調の 変化があれば相談し適切な指導をして貰えるよう支援 体制が取れている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	
			<p>早期に退院出来るよう病院関係者との情報交換や相談 に努めている。連携病院とも万全の態勢が取れてい る。</p>	
			(外部評価)	
			<p>早期に退院出来るよう病院関係者との情報交換や相談 に努めている。連携病院とも万全の態勢が取れてい る。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>入居時に説明を行っており、看取りの指針がある。家 族との信頼関係が出来た上で十分に話し合いを行い、 希望を聞いてチームで支援に取り組んでいる。</p>	
			(外部評価)	
			<p>入居時にはご家族や利用者に事業所の指針に沿って説 明はされているが、状態に応じて法人の医師と話し合 い、その後のことは医師の判断とご家族の希望で決め るようになっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  研修や勉強会に参加して実践出来るようにしている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  年2回消防訓練を行っている。昨年は夜間を想定して避難訓練を行い、利用者をシートにくるんで階段から降ろす練習をした。今後は地域の人達とも防災訓練を行っていきたいと思う。  (外部評価)  隣接の法人医療機関と合同で、年に2回避難訓練を行っておられる。いざという時には、近くに住む職員や法人の職員、近所の方が協力してくれるようになっている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  理念に「尊厳の保持」を掲げており、言葉かけや対応には十分に配慮するよう心がけている。  (外部評価)  透析を受ける時間以外は、体調等もみながら、利用者のお若い頃のお話をされる等、利用者が生き生きと暮らせるように「楽しい時間作り」に心がけておられる。	職員は「自分が行うケアが他の人から見てどうなのか不安な時もある」と感じておられる。又「利用者がもっと地域の方等、いろいろな方とかかわりながら暮らせるよう支援したい」という思いを持っておられる。時には他事業所と交流されたり、外部者に事業所のケアについて、ご意見をうかがうような機会も作ってみてはどうだろうか。又、事業所自身でも職員の会話や声の大きさ等、配慮できることはないか点検されてみてはどうだろうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  本人の話をよく聞いて、思いや希望に少しでも近づけるように、また自己決定出来るよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースに合わせて希望に添えるよう支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 洋服や髪形は、本人の意思を尊重し個性に合ったおしゃれが出来るよう支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食欲が増すように彩りや盛り付けを行って利用者とスタッフが一緒に準備、食事、後片けを行っている。あまり食事が進まない利用者には、食べやすい形態にしたり少し手を加えて摂取しやすいよう工夫をしている。	
			(外部評価) 居間に掲示されているメニュー表を見て、食事を楽しみにされている方や、職員に今日のメニューを聞く方もある。食欲がわからない方にはアイスクリームや高カロリー栄養補助食品で代用されている。職員も一緒に同じものを食べながら「これおいしいよ」とすすめると、食べてみられる方もある。お盆を滑りにくいものに替えたり、食器は深さのあるものにする等、工夫されご自分で、できるだけ食事できるように支援されている。法人の厨房に食事を取りに職員と行かれたり、食後はタッパーを返しに行かれている。お祭りの日や外食される時には、医師の許可を得てビールを楽しまれる方もある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 管理栄養士がカロリー計算をしてくれている。透析患者が多いので水分管理には十分に気をつけて提供している。また食事も一人ひとりの状態に合わせて提供している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後に口腔ケアの声かけを行い、自分で出来ない人にはスタッフが介助をして行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)  個々の排泄パターンを知り、トイレ誘導を行い出来るだけトイレで排泄が出来るよう支援している。  (外部評価) 自室にトイレのある部屋もあり、又、共用のトイレを使う方もある。利用者によって、水分摂取量が限られていたり、排尿量が少ないような方も多いが、排泄の記録を取って、管理者が管理されている。又、病状によって、どうしても便秘になりやすいようだが、食事にサツマイモ等、繊維のものも採り入れ配慮をされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)  透析患者が多い為、予防の為に飲食物を特に多く取る事は難しく下剤でのコントロールが中心になっている。散歩や運動をするよう支援している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)  透析日には入浴出来ないが、出来るだけ本人の希望の時間帯に入浴出来るよう支援している。また夜間の入浴も多く行えるよう支援している。  (外部評価) 透析を受ける日以外に入浴できるよう支援されている。現在、利用者はみな、入浴を楽しみにされているようで、体を洗うミトンや好みのシャンプー等、ご本人に合ったものを使用して、入浴を楽しめるように支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)  一人ひとりの活動のペースや状況に応じて適宜居室で休息して頂いたり、心地良い入眠が出来るよう支援している。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方されている薬については、スタッフ全員が把握出来るようPCで申し送りをし、確認を行っている。ほとんどの利用者の薬は、スタッフが管理しており、病状の変化の確認に努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 日々の生活の中でその人の役割となる物を見つけ、その人の力を活かせるようなお手伝いをして頂いている。また本人の希望に合わせてレクリエーションも実施している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 本人の希望に沿って散歩や買い物等を行ったり、外出のレクリエーションを多く取り入れている。また本人の希望を聞いて馴染みの場所や会いたい人に会いに行ける支援をしている。	
			(外部評価) 歩くことがお好きな方は、散歩に頻繁に出かけられるよう支援されている。この一年、事業所では外出する機会を増やすことに力を入れて来られ、毎月、計画を立てて出かけるようにされている。誕生日の日には、ご本人の希望をお聞きしてお好きなところに出かけておられ、デパートでウィンドーショッピングして、お茶を楽しんで帰った方もある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を自己管理出来る人は、本人に管理して頂いている。ご自分で管理出来ない人は、施設が預かり必要に応じていつでも使えるよう支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望があれば、電話をしたり手紙のやり取りが出来るようスタッフが支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			玄関やベランダに利用者と一緒に花や野菜を植えて季節感を出している。共用の空間は、利用者にとって居心地のいい場所となるよう清潔に心がけている。	
			(外部評価)	
			台所と食堂が近く、食事の支度をしている様子がよく見える。窓に行事時の写真を貼っておられたり、ベランダや中庭には草花や野菜を育てておられた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			リビングの席は、なるべく気の合う仲間と座れるよう配慮している。また廊下にソファを置いて一人でも過ごせるように工夫している。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			居室には本人が使っていた家具等を持って来て貰い住み慣れた家と同じように安心して生活出来るよう支援している。	
			(外部評価)	
			ベッドやテレビ、電話が備えてあり、布団もリースのものを使っている。娘さんが小物を飾ってくださっているお部屋もあった。「夜一人で眠るのはさみしい」と言われる方の枕元には、ぬいぐるみを置いておられた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			出来るだけ自立した生活が送れるよう出来る事は利用者にして頂いている。安全に生活出来るように、その人がわかりやすい空間作りに努めている。	